

QuickSmarts

道路の横断



止まって、よく見て、よく聞いて、考えて

子供たちに、交通量の多い道路を安全に歩き、道路を横断する方法を教えることは、優れた交通安全習慣を身につけるのに役立ちます。

正しい道路の渡り方

4つの簡単なステップで子供達に正しい道路の横断の仕方を教えることができます。

- STOP、LOOK、LISTEN、THINK。

•STOP: 歩道の端から一歩下がったところ、歩道のない場合は路肩から一歩下がったところで止まります。

•LOOK: 車が来ていないか、前後左右 総ての方向を確認します。

•LISTEN: 車が来ていないか前後左右 総ての方向の音を確認します。(エンジン音など)

•THINK: 道路を横断しても安全かどうかを考えます。道路を横断しても良いのは、安全が確認でき、車が全て止まっている時に道路を横断できます。または総ての車が停止している場合です。

横断するときは、道路をまっすぐ歩くこと、横断している間は交通状況をよく見て、周囲の音を良く聴いて注意を払うように子供たちに教えましょう。

道路を横断する際は注意をしよう。

どこが一番安全に道路を横断できるかを子供たちに示します。可能な場合は、たとえそれが、多少歩かなければならないところであっても、横断歩道、信号機、または歩行者の避難所がある場所を横断する必要があることを伝えます。

近くに横断歩道などが無い場合は、子供達から車の往来がはっきり見え、運転手から横断する子供たちが見えるような安全な場所で、道路を横断するように教えましょう。

。子供達には、道路に車来ていなく、安全確認が出来た時以外には、決して道路を横断したり、飛び出したりしないように指導しましょう。

横断歩道を利用する

歩行者用横断歩道（Zebra）では、車が止まったときにのみ横断するように子供たちに教え、歩行者信号では、「**緑の人**」または**歩行者用信号が緑(WALK)**の時にのみ横断するように教えます。

「**赤い人**」または**歩行者用標識が赤(DON'T WALK)**が表示されている場合は、赤信号の点滅を含め、道路を渡らないように注意してください。信号が緑色の場合にのみ歩いて道路を横断するように教えましょう（走って横断してはいけません）。

聞くは見ると同じぐらい重要です

車などが近寄ってくる音を聞くことは、それを見るのと同じぐらい重要です。道路を横断するときヘッドフォンを身に付けることの危険性について子供たちに話しましょう。

子供が歩いている間に音楽を聴きたい場合は、音楽を適度な音量に保ち、ヘッドフォンは片耳だけで使用するよう言いましょう。

交通量の多い道路の路肩や歩道の歩き方

両親や保護者は、道路沿いを歩くときは常に子供と手をつなぐ必要があります。

幼児は、交通に対処するためのスキル、知識、判断力が不足しているため、たとえ慣れ親しんだ道路上や交通量が少ないときでも、常に目を離してはいけません。

常に歩道を歩くように子供たちに教えましょう。歩道が混んでいても、急いでいるからといって、人を追い越すために道路を歩いたりしないようにしましょう。それは非常に危険です。

歩いているときは注意散漫にならないように

道を歩いていると、気が散ることがたくさんあります。外出中は、携帯電話や携帯端末をバッグやポケットに入れて持ち歩くように子供たちに教えましょう。

他の人にぶつかったり、縁石やでこぼこの表面をつまずいたり、道路に踏み出したりと、散漫に歩くと、簡単に怪我をする可能性があります。

これらの簡単なステップに従って
子供に交通安全を教え、
子供たちの安全を護りましょう。